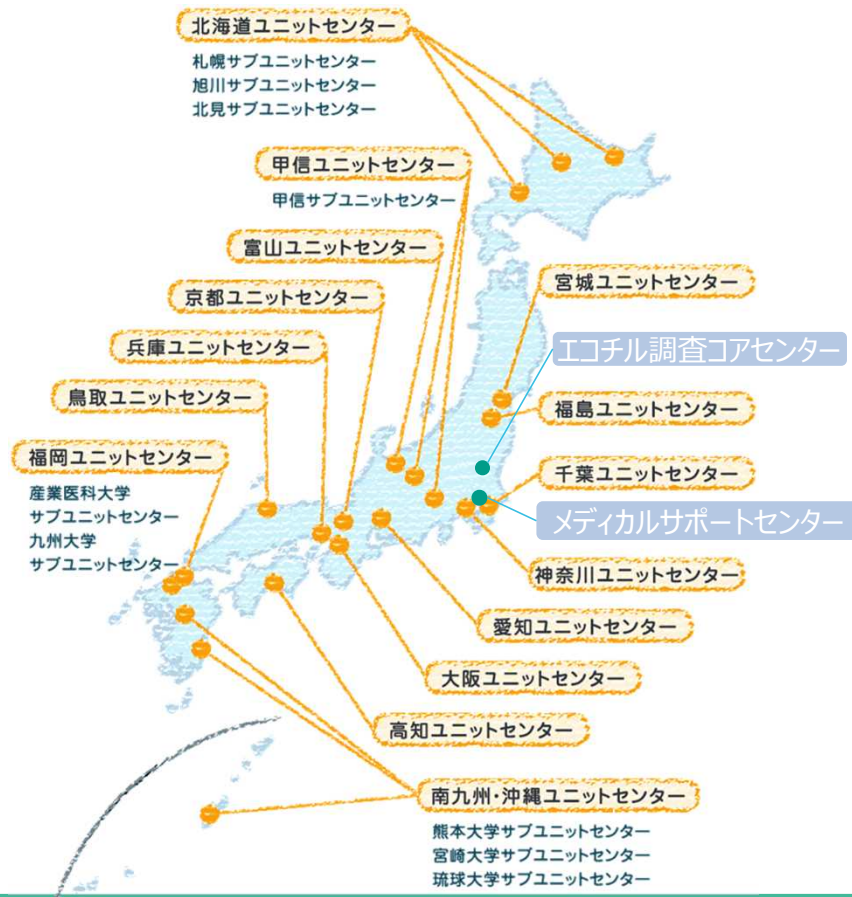


子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)の概要

調査の目的・概要

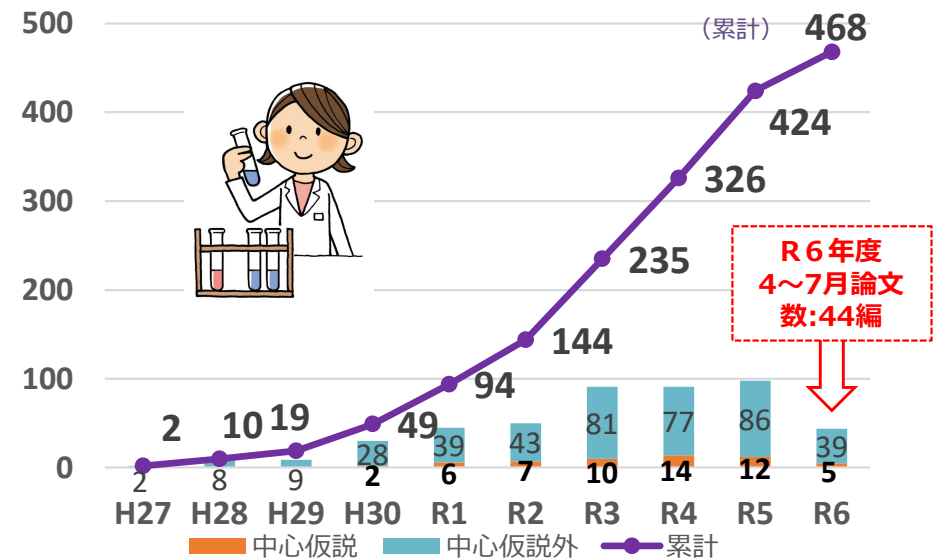
- エコチル調査の目的は、化学物質のばく露等が、胎児期から小児期にわたる子どもの健康にどのような影響を与えているかを明らかにし、リスク管理当局や事業者への情報提供を通じて、適切なリスク管理体制の構築につなげることである。
- 化学物質等の環境要因が健康に与える影響を解明するため、**約10万組の親子を対象としたエコチル調査を2010年度から実施。参加者の多くが協力を継続。**
- 参加者の血液等の**生体試料(約560万検体)**を採取・保存・分析するとともに、質問票等による追跡調査を実施。
- 開始時に策定した学童期(～12歳)までの基本計画を、**「エコチル調査企画評価委員会」の議論※を踏まえて13歳以降の調査に向けて改定(令和5年3月30日公表)。** ※「健康と環境に関する疫学調査検討会」報告書(令和4年3月29日)を受けて議論

エコチル調査実施体制



研究成果

- 令和6年7月末時点までの全国データを用いた論文数は**468編(中心仮説は56編)**。
- 妊婦の化学物質等のばく露と、子どもの体格やアレルギー疾患等の健康影響との関連が明らかとなっている。



* 中心仮説：胎児期～小児期の化学物質ばく露等の環境要因が、妊娠・生殖、先天性形態異常、精神神経発達、免疫・アレルギー、代謝・内分泌系等に影響を与えているのではないかな。

成果発表一覧

<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/results/publications.html>

妊婦や子どもの健康に関するガイドライン等の策定に貢献

- 食品安全委員会 評価書 3件
- ガイドライン等 6件



編集・監修 日本産科婦人科学会/
日本産婦人科医会



日本小児アレルギー学会作成、滝沢
琢己、他監修。協和企画、2023。



橋本圭司、他監修。医学書院、2021。



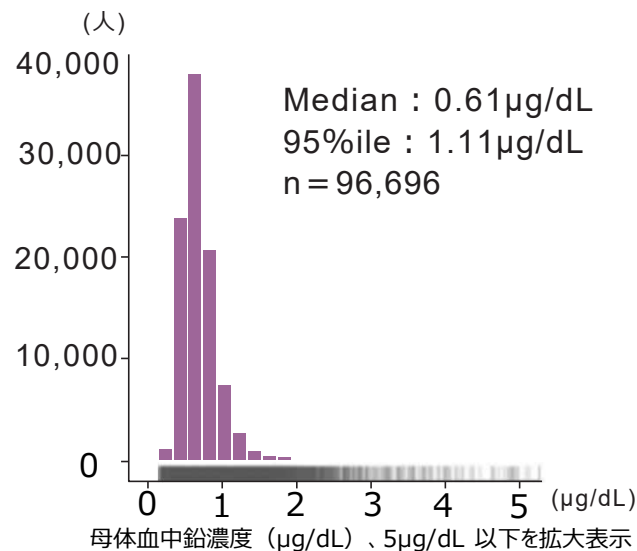
日本小児アレルギー学会作成、海老澤
元宏、他監修。協和企画、2021。



「食物アレルギーの診療の手引き2020」
<https://www.foodallergy.jp/wp-content/themes/foodallergy/pdf/manual2020.pdf>

活用事例

「評価書 鉛（2021年6月食品安全委員会）」
妊婦（約10万人）の血中鉛濃度のデータを引用



エコチル調査の対象者（妊婦）の血中鉛濃度

出典：「評価書 鉛」（内閣府食品安全委員会）の図を元に作成
(https://www.fsc.go.jp/osirase/lead_and_health_assessment.html)

「妊娠中の体重増加曲線（妊娠前BMI別）
（2021年9月報道発表）」
妊婦（約10万人）の健診情報を用いて妊娠前BMI別に4通り作成

